

市民活動サポートセンター 登録団体紹介シート

食物アレルギー児の暮らしを考える会 長岡京／食物アレルギーのある子どもとその家族の支援

団体紹介

2019年創設。当事者（食物アレルギーの子どもと家族）と地域の人と一緒に考え、子どもを支える会です。代表も食物アレルギーの子どもの保護者であり、京都市内の食物アレルギーの子どもを支援する NPO のスタッフとしても働いています。メンバーメール登録者が20名ほどいて、その都度スタッフになってもらっています。

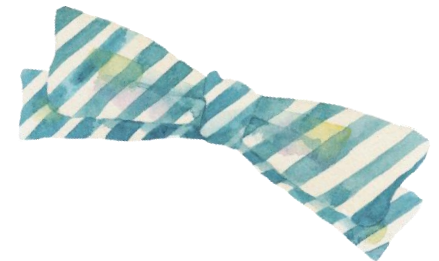
今年度の事業紹介と次年度以降の予定

食物アレルギーを有する乳児は全体の1割と言われているほどで、今や珍しくはありませんが、偶然同じ境遇の仲間に出会えるほど多いわけでもありません。そのため、食物アレルギーの子どもの保護者は「周囲に仲間を見つけれない」「理解してもらえない」という中で、孤独に頑張っていることも多くあります。当会では、食物アレルギーの子どもと家族が長岡京という地域の中で理解者を得て、生き生きと生活できるような地域づくりを目指しています。

- ・食物アレルギーの専門医の勉強会
- ・食物アレルギーの子どもの保護者の交流会
- ・地域の人に食物アレルギー関心を持ってもらうための啓発活動
- ・食物アレルギーの子どもが安心して参加できるイベントの実施

食物アレルギーの啓発ポスターのイベントでの展示や長岡京市教育委員会と食物アレルギー専門医の協力を得ての『食物アレルギー児の小学校入学準備勉強会』開催や食物アレルギー児の保護者交流会を企画していましたが、新型コロナウイルスの影響で多くのイベントが中止となりました。啓発ポスターの展示機会も失ったため、人を集めずに通りすがりの人の目に留まるよう、1か月間様々な場所での掲示をする企画に変更し、SNS でも積極的に展開しました。これは苦肉の策でしたが、かえって多くの方の目に留まり、思いもよらない広範囲（北海道～沖縄）まで掲示協力者が現れ、新たなつながりが生まれました。次年度以降の企画につながっています。

『食物アレルギー児の小学校入学準備勉強会』については、オンラインで実施しました。オンラインでは講演パートは良いのですが、双方向の交流となると当会の不慣れな面もあり、難しさを感じました。しかし、子どもが小さい保護者が主な対象者であるため、参加者からは子どもがいても参加しやすかったという好意的な意見が多くみられました。食物アレルギーがあると小学校入学など生活の新たな局面に不安があります。しかし、事前に小学校の体制や保護者ができる準備を知ること、不安を減らして小学校入学を楽しみにできるようになったという意見がほとんどでした。こちらについては実施時期の変更などは今後の課題ですが、今後も必要な事業であると考えています。



食物アレルギー児の保護者交流会については、人数を5人以下に制限し、3回実施しました。本来は月に1回程度継続的に開催し、その都度食物アレルギー配慮商品の調理などを企画していましたが、それは断念せざるを得ませんでした。

食物アレルギー児の保護者が仲間を見つけて安心して話せる場作りは必要不可欠なものです。今後、どのような形で実施するのか、オンラインで十分な効果があるのかは検討課題として残っています。

この事業は『令和2年度地域交響プロジェクト交付金』助成事業です。

もしもの時は 

こんな炊き出しがうれしいね 食事制限があっても 食物アレルギーがあっても

とんじる
 ・ぶたにく・ねぎ
 ・だいこん・ごぼう
 ・にんじん・ごといも

使用した調味料をならべる


パッケージを捨てずに貼るだけ!

〇〇町避難所 **炊き出し**

みんなが あんしん!

何が使われているかわかると、みんなが安心して食べられます
「原材料表示」をお願いいたします!

食物アレルギー児の暮らしを考える会 長岡京 共催・監修 / 認定特定非営利活動法人FaSoLabo京都

この事業は『令和2年度地域交響プロジェクト交付金』助成事業です。

**いっしょに
たべられるかな?**

かくにんしてね!

食物アレルギーの人にとって原材料表示は、食べられるかどうかの判断基準です

原材料表示

そのパッケージはすてないで /

だいじょうぶ! たまご入ってないから

たべられるかな? パッケージ確認してね

もらえるのは、とてもうれしいけれど

原材料表示も、見せてもらえるのもっとうれしいです

食物アレルギー児の暮らしを考える会 長岡京 共催・監修 / 認定特定非営利活動法人FaSoLabo京都



食物アレルギー児の暮らしを考える会 長岡京



代表 今川 麻紀

長男に生後6か月で重度の食物アレルギーが発覚。小学生になった今も、アレルギーと付き合いながら暮らしています。しんどいこともありますが、周りの人に支えられて楽しいこともたくさん。2019年に『食物アレルギー児の暮らしを考える会 長岡京』をつくり、地域の皆さんと一緒に食物アレルギーについて学んだり、楽しい企画を考えたりする機会を創っています。



わたしの子育ては

アレルギーから
始まりました

生後6ヶ月目で
診断された
食物アレルギー

初めての育児

わからないこと
だらけ

で食物
アレルギー

不安で
押しつぶされそうで
検索・検索の日々

わたしが悪いの？ 原因は？

いつ治るの？

これを
食べるの
治る!!

あふれる
情報

この石けんを
使うべし!

これを
しては
ダメ!!

病院は
どこがいいの？

この薬が
効く!!

制限されること

この子を守るのは
わたしだけなんだ

日々
追いつめられる

アレルギー対応に
理解のある
保育園との出会い

支えてくれる
人たちの出会いが
大きく私を変えることに

食物アレルギーの
子どもと保護者を
支援する
NPO団体との
出会い

長岡京にも、
食物アレルギーについて
話せる場がほしいなと
思い続けて6年が経ち、
応援してくれるみなさんに
背中を押してもらって
この会ができました。

食物アレルギーが
なくても
参加できますか？



大歓迎です！
この会ではアレルギーが
ある子の保護者でも、
そうではないけれど
関心がある方も
参加されています。



小さい子どもが
いるので…



忙しくてあまり
参加できない
かも



会のモットーは
**できることを
できる時に
できる人が
です。**
会員制ではありません。



これまでの活動

専門医による講演会

保護者交流会

子ども向け
地域イベントの出展

かみ
しばい



イベントをお知らせするメールの登録は manpukudayori@gmail.com
質問・感想・関心のある方も、お気軽にご連絡くださいね！



最新の情報はFacebookにて随時更新中！



時間のある時に会のお手伝いをしてくださる方も、大募集！